



自分でデザインする
新しい学びの形。

Self

Produced Learning

学びのセルフプロデュース



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

学びのセルフプロデュースとは…

大学での学びは

高校までと
どう違うんだろう？

選べる科目はたくさん
あるけど、どうやったら
自分の幅を広げられる
んだろう？

多くのことを学ぶ
ためにはどうやって
計画したらいいんだ
ろう？

島根大学では

学びの セルフプロデュース

大学での学びを自分自身で
計画的にデザインしていく仕組み

広く学びたいあなたのために
3つの「**プラスαの学び**」を
用意しています。
未来の「**なりたい自分**」を見据え、
主体的に学びを組み立てて
いきましょう！

地域や海外をフィールドに、 循環して深まる学びの形

地域や海外をフィールドに、教室
での学びを実践、展開することで、
学修が深まり、定着していきます。
同時に、自身の適性や弱みが見えて
くることで、次の学びにつながって
いきます。

なりたい
自分

講義で得た学び

地域産業界

地域の
文化・歴史

地域の自然

学びの
フィールド

海外

地域の人々
コミュニティ

発見！

弱点…

探究

強み！

島根大学では、地域をフィー
ルドとした地域志向教育をは
じめ、様々な教育プログラムを
展開しています。

詳しくはこちら



「プラスαの学び」とは

3つの「プラスαの学び」って、どんなものかな？どんな力が身に付けられるのかな？



学びの

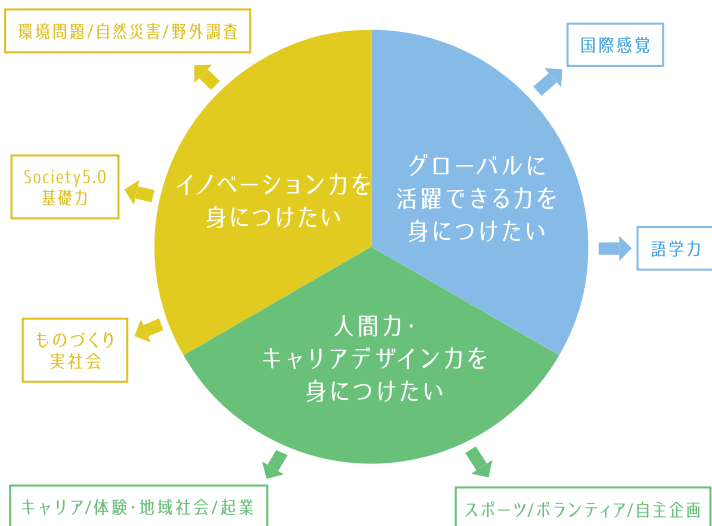
セルフプロデュースマップ

自分が所属している専門分野を深めたい！

これまで受けた学びを発展させたい！さらに視野を広げたい！

自身の興味を追求し、やりたいことに挑戦することで、
思いもよらなかった将来の道が見つかるかもしれません。

あなたもプラスαの学びに挑戦してみませんか？



プラス
α1

「イノベーション基礎力」を身につける

全学共通教育(教養育成科目)には、あなたの「イノベーション基礎力」を伸ばすプログラム(授業科目群)があります。特別副専攻プログラムとして、環境をテーマに多角的に学ぶ「環境教育」。多様で個性豊かな地域遺産について学び、地域活性化を考える「ジオパーク学」。島根県の地域資源でもあるRuby(ルビー)プログラミング言語を身につけ、世界で活躍する人材を養成する「Ruby・OSS履修プログラム」。数理的思考力とデータ分析・活用能力を養成する「数理・データサイエンス(基礎・専門)プログラム」。ものづくりについての初歩的な知識を身につける「ものづくり人材育成プログラム」。自然災害、防災・減災科学に関連した知識を利活用できる人材を育成する「自然災害軽減科学プログラム」。観光とは何かを多様な視点で学ぶ「観光教育プログラム」を用意しています。特別副専攻プログラムは、要件を満たすと修了認定証書が交付されます。

プラス
α2

「国際感覚・語学力」を身につける

外国に行っても物怖じしないグローバルな感性と語学力を身につけるためのプラスα、それが「英語高度化プログラム」、「中国語実用化プログラム」、そして多彩な海外留学プログラムです。英語高度化プログラム及び中国語実用化プログラムは基準をクリアすれば「特別副専攻」を履修したものと認められます。

プラス
α3

「人間力・キャリアデザイン力」を身につける

自分が社会に出て働くイメージをきちんと持ち、就職・進学などのキャリアをデザインする…そんな学びと体験が気軽にできるプログラムが「キャリアデザインプログラム」です。また大学にはさまざまな部活動・サークル活動・ボランティア活動・学生の自主企画活動などを支援する仕組みがあります。こうした「正課外活動(授業以外の学生生活活動)」にはビビットポイントという点数が付与され、様々な特典があります。

詳しくは次のページで

プラス
α1

自分の興味を活かして学ぶ中から 「イノベーション基礎力」を身につける



多様な価値が交錯し、これまで誰も当面したことがなかったような問題が次々に現れる今日の複雑な社会情勢の中、大学卒業者に求められている力、それがイノベーションを生み出す力です。既成の方法の適用ではなく、自ら新たな課題を発見し、その解決を独自の道筋を立てて追求し、新たな資源・生産方式・製品・市場・組織などを生み出すような変革(イノベーション)をもたらす力。それを手にいれるためにはまず、現実の社会や地域と関わりを持ち、その実体験の中から主体的に学んでいく態度と方法を身につけることが重要です。そのために用意されているプログラムをご紹介します。

特別副専攻 環境教育プログラム(16単位)

21世紀を生きる地球市民として「環境」に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための特別副専攻プログラムです。プログラムを通じて、様々な環境に対する感受性を養うとともに、興味・関心を高め学際的な知識を獲得し、環境問題等に対して率先して行動できるようになります。また、履修中の証明や修了証明が得られ、就職活動等にも使うことができます。

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 環境教育プログラム(16単位)



特別副専攻 ジオパーク学プログラム(8単位)

ジオパークとは、地質学的に価値の高い地点(サイト)があり、「保護」「教育」「持続可能な開発」が一体となった概念によって管理されたエリアのことです。ジオパークでは地質(ジオ)のみならず、そこに広がる動植物・生態系(エコ)、および私たち人の生活・文化・産業(ヒト)の3要素のつながりを楽しく知ることができます。多様で個性豊かなジオパークについて、基礎的な知識を習得し、さらに、ジオパークを生かして、地域活性化を模索・支援することができる学際的な人材の育成を目指します。

ジオパークプロジェクトセンター ▶ <http://kunibiki.noomise.com/>

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > ジオパーク学プログラム(8単位)



特別副専攻 Ruby・OSS履修プログラム(8単位)

島根発祥のプログラミング言語・Ruby(ルビー)を、実践的なプログラミングの学習と、活用するための情報経済・情報産業に関する学習を通じて学び、実社会で活躍することができる高度な人材の育成を目指します。

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > Ruby・OSS履修プログラム(8単位)



※各プログラムのより詳細なパンフレットが学生センター1階⑥番窓口にあります

特別副専攻 数理・データサイエンス 基礎プログラム(8単位)／専門プログラム(16単位)

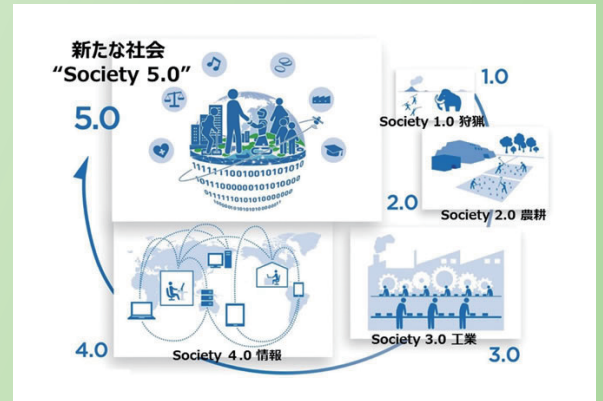
Society5.0時代に必要となる数理的思考力とデータ分析・活用能力を養成するためのプログラムです。基礎プログラムでは数理・データサイエンスの初歩的事項を学び、データ分析において重要な概念を身につけ、身近な問題に活かす力を養成します。専門プログラムでは数理・データサイエンスに関する初歩的な知識、大学基礎統計学の知識、数理的思考力を身につけ、現実的な問題を解決する力を養成します。

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 特別副専攻 数理・データサイエンス基礎プログラム(8単位) or 専門プログラム(16単位)

基礎

専門



特別副専攻 ものづくり人材育成プログラム(8単位)

島根県は特殊鋼などの先端素材をつくる「ものづくり産業」がとても盛んです。それは、この地方で古くから営まれてきた「たたら製鉄」の伝統に根ざしています。本プログラムは、理系、文系の皆さんに「ものづくり」についての初歩的な知識を身につけてもらうことで「ものづくり産業」の発展に貢献できる人を増やし、島根の、さらには日本の産業のさらなる活性化を実現することを目指しています。

次世代たたら協創センター
Next Generation Tataru Co-Creation Centre

※本プログラムは、次世代たたら協創センターと連携して実施します

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 特別副専攻 ものづくり人材育成プログラム(8単位)



特別副専攻 自然災害軽減科学プログラム(8単位)

日本において自然災害は身近な所で発生します。災害に対する意識を高めることは災害による被害を減らすためにも重要です。このプログラムでは山陰地方を事例として、災害をもたらす自然現象やそれに対する備え(防災・減災対策)を学ぶと共に、それらの理解に必要な基礎知識や技能を修得します。そして自然災害、防災・減災科学に関連した知識を利活用できる人材の育成を目指します。

自然災害軽減教育研究センター ▶ <https://ndrre.shimane-u.ac.jp/>

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 特別副専攻 自然災害軽減科学プログラム(8単位)



特別副専攻 観光教育プログラム(8単位)

観光とは何かを多様な視点から理解するとともに、体験的な学習を通じて観光に関する実践知を獲得することを目指すプログラムです。受講者自身の専門が、観光にどのように関わることができるのかを展望し、観光に意欲的に取り組めるようになることを目指します。

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 特別副専攻 観光教育プログラム(8単位)



※各プログラムのより詳細なパンフレットが学生センター1階⑥番窓口にあります

プラス
α2

英語高度化プログラム、 中国語実用化プログラムと積極的な留学体験で 「国際感覚・語学力」を身につける



これからますます、国際感覚あふれる幅広いものの見方を身につけ、それを実践的に活かすことができるような人材が求められます。語学力を付けて国際社会を舞台に自分の力を試したいと思う人は、ぜひ英語高度化プログラム、中国語実用化プログラムに参加しましょう。授業だけでなく、外国語の実践力を高めるコミュニティがあなたを待っています。夏休みや春休みを利用した短期海外研修プログラムなど、充実した短期・長期の留学体験にも積極的に参加しましょう。

出雲キャンパスの医学部生には医療現場で役立つ「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」が開講されています。



特別副専攻 英語高度化プログラム(16単位)

英語高度化プログラムは、将来、海外の留学を希望する人や大学院進学、就職に必要な英語力を必要とする学生を対象にした特別副専攻プログラムです。グローバル・エキスパート養成コース(TOEIC700点以上)とグローバル・リーダー養成コース(TOEIC800点以上)の2つのコースがあり、前者では、必修4科目(8単位)、選択4科目(8単位)、計16単位、後者では、必修3科目(6単位)、指定選択2科目(4単位)、自由選択3科目(6単位)、計16単位を修得することになっています。また、教室内の学びばかりでなく、楽しく英語が学べる課外活動をたくさん提供します。詳しくは外国語教育センターワークステーション窓口[総合理工学部棟2号館1F]にご相談ください。

外国語教育センター ▶ <https://cfle.shimane-u.ac.jp/>

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育[学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 特別副専攻プログラム > 英語高度化プログラム(16単位)





医学部用「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」

[出雲キャンパス]

医学部(出雲キャンパス)では、英語必修科目以外でさらに英語力を上げたいと希望する学生を対象に、医学部独自の英語高度化プログラム(アドバンスト・イングリッシュスキルコース)を開講しています。コースには8科目の自由選択科目と3つの海外研修科目があり、学生は自分のニーズやレベルにあった科目を在学中に自由に選択して履修できます。また、規定以上の科目を履修した学生には修了認定証を授与します。英語コミュニケーション力と国際的視野を備えた「地域と世界に貢献できるグローバルな医療人」を目指す皆さん、是非受講してください。詳しくは医学部 英語学習支援室eクリニックにご相談ください。



Check! <https://www.med.shimane-u.ac.jp/> (島根大学医学部HP)

TOP>国際交流>アドバンスト・イングリッシュスキルコース



特別副専攻 中国語実用化プログラム(16単位)

中国語実用化プログラムは、将来、中国語圏への留学や大学院進学、就職などに中国語を必要とする学生を対象とし、実用的な中国語コミュニケーション能力を保持しつつ、中国語圏(香港、台湾、シンガポールなどを含む)の社会・文化についての深い理解と高い見識を備えた人の養成を目的とする特別副専攻プログラムです。プログラム内の授業は、すべて選択科目になっており、選択8科目(16単位)を修得し、併せて中国語検定試験3級またはHSK4級の資格を取得することになっています。中国語課外活動も多くあり、授業外でも中国語教員が丁寧に個別指導し、支援します。詳しくは外国語教育センターワークステーション窓口[総合理工学部棟2号館1F]にご相談ください。



外国語教育センター ▶ <https://cfle.shimane-u.ac.jp/>

Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP>教育[学部・大学院]>修学インフォメーション>各種教育プログラム>特別副専攻プログラム>中国語実用化プログラム(16単位)



プラス

α2

海外留学プログラム



生まれ育った日本でずっと暮らしていると、世界の様々な文化や異なる考え方に直に触れる機会が少ないため、日本人や日本文化の伝統の良さがかえって見えなくなってしまうがちです。しかし、短い期間でも海外に出ると、グローバルな視点を持つことができるとともに、日本人として自らを振り返り、日本文化を客観的に見直すことができます。

全学共通教育において、英語圏を中心に、事前事後指導と短期海外研修がセットになった授業科目がたくさんありますので、積極的にグローバル体験をしてください。

また、海外大学への交換留学制度により、アメリカ等の英語圏の大学や、中国や韓国等のアジア圏、さらにフランスやドイツのヨーロッパ圏の国々にも留学ができます。

国際交流センターでは、グローバル社会を深く理解し、海外留学等にチャレンジする学生を増やすことを目的として、以下の講義やセミナーを開講しています。

グローバル関連講義とセミナーシリーズ

グローバル・イシュー： 国際社会が抱える課題と対応

貧困問題や環境問題など、グローバル社会のリーダーとなるべき人材が理解すべき事柄や、世界で発生している様々な課題の実態や背景を知り、その課題の解決への道筋を、地域や日本の課題の解決方法に関連づけて理解する講義です。



グローバル・チャレンジ： 海外留学・インターン・ボランティアへの挑戦

世界各国の歴史や生活、そして海外留学事情の現状についての知識を習得することで、海外留学等への参加に関心を持つことを目的とする講義です。将来、海外留学やボランティアに挑戦したい学生向けの講義です。



グローバルインサイトセミナー

授業ではありませんが、大学内外の各専門家から世界の実情を聞くことを目的とし、おおよそ2ヶ月に1回行っているものです。これまでインドネシア総領事や国際協力機構(JICA)部長といった方々から、国際的な課題などについて講義をしていただいています。日程は国際交流センターから随時お知らせします。



海外留学プログラムや上記の講義等については、国際交流センター窓口にご相談ください。

国際交流センター

HP <https://kokusai.shimane-u.ac.jp/>

FB <https://www.facebook.com/shimadaikokusai/>

HP ▶





海外研修プログラム

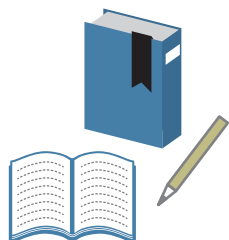
※下記の予定は変更になる場合があります。新型コロナウイルス感染症の影響で中止やオンラインでの実施になる可能性があります。また、応募者が少数の場合、不開講となることがあります。

プログラム名称	募集・説明会	準備期間・事前事後研修	現地研修	募集人数	現地研修期間	参加費用	主な研修内容
グローバル課題解決型研修 (タイ:観光開発の現状と課題) (タイ・チェンマイ大)	4月～5月	5月～9月	8月中旬～9月上旬	15	2週間	約23万円	英語研修、チェンマイ大学生との交流、北部タイ観光資源理解プログラム(講義、歴史・文化ツーリズムやエコ・ツーリズムの現場視察、ホームステイ)
韓国の文化と風土(韓国・慶尚大)	4月～5月	5月～9月	8月上旬～中旬	15	11日間	約8万円	韓国語・韓国文化講座、名所旧跡見学、慶尚道大学学生との交流、2泊3日のホームステイ
英語海外研修A (カナダ・ウオータールー大) ※鳥取大学主催	4月～5月	5月～9月	8月上旬～9月上旬	5 ※鳥取大から20名程度参加	3～4週間	56万円	1日5時間の英語学習、多国籍な学生交流、各種アクティビティ、週末の小旅行
英語海外研修F (アメリカ・セントラルワシントン大) ※島根県立大学短期大学部主催	4月中旬	5月～9月	8月上旬～下旬	5 ※島根県立大から20名程度参加	2～3週間	約42万円	1日3時間の英語授業、各種イベント(市内見学、川下り、乗馬、パーティーなど)による交流、マリナーズ戦観戦、シアトル市内観光など
英語海外研修G (アメリカ・ヴァージニアコモンウェルス大)	4月～5月	5月～9月	8月中旬～9月中旬	15	3週間	約35万円	ヴァージニアコモンウェルス大学生との共同講義・討論会・文化交流、現地大学・小中学校見学
中国語圏の歴史と文化	4月～5月	5月～9月	8月中旬～下旬	10～15 ※県立大から若干名参加	約1週間	約15万円	中国の歴史・文化体験、現地日本企業訪問、現地大学での講義および学生との交流
英語海外研修B (アメリカ・アーカンソー大)	10月～11月	11月～3月	2月中旬～3月中旬	20 ※鳥取大から5名程度参加	3～4週間	50～55万円	全期間ホームステイ、アーカンソー大学生との交流、就業力育成ワークショップ、地域ボランティア、各種イベント参加(ハイキング、スポーツ観戦など)
フランス短期海外研修 (フランス・オルレアン大)	10月～11月	11月～3月	2月中旬～3月中旬	10	約4週間	約35～40万円	フランス語学習、オルレアン大学生との交流、名所旧跡見学など
英語海外研修H (アメリカ・ミシガン州立大)	10月頃	11月～3月	2月中旬～3月中旬	15	3週間	35万円	ミシガン州立大学生との共同講義・討論会・文化交流、現地大学・小中学校見学
海外課題解決型就業体験プログラム	-	-	夏季休暇または春季休暇中	未定	2週間以上	-	学生自身が事前に就業体験プログラムを大学側に提案し、採用されたプログラムを実施する
グローバルイシュー実践海外研修	10月～11月	11月～3月	2月	10	10日間	約20万円	カンボジアNGOを訪問し、同国の課題を理解し学ぶ

上記は国際交流センター等が主催するものです。このほかに、各学部及び外国語教育センターでも海外研修プログラムを実施しており、1年次から履修できるものもあります。詳細は、各担当窓口にご相談ください。

プラス α3

キャンパス、仕事の現場で、自ら行動して学ぶ中から 「人間力・キャリアデザイン力」を身につける



社会的自立のために求められる多様な能力を伸ばし、自分が社会に出て働くイメージをつかむ、そのような、「人間力・キャリアデザイン力」を身につける重要性が近年、増えています。そこで、低学年から地域で体験活動のできる授業や自らのキャリアをデザインすることを目指す教育プログラムを展開しています。正課内でキャリアデザインに必要な「知識」を身につけ、正課外活動で、人や社会とのつながりから「社会人基礎力」を得ます。多様な場所で「経験」を積み上げる活動を展開してください。

低学年次学生対象の体験学習

「過疎・高齢化、離島・中山間地域問題、地域医療危機などの問題を抱える地域社会の現状を理解し、それらを解決するための力を培う」ことを目的としてさまざまな体験活動のできる授業科目が用意されています。



Check! <https://www.shimane-u.ac.jp/> (島根大学HP)

TOP > 教育 [学部・大学院] > 修学インフォメーション > 各種教育プログラム > 低学年次学生対象の体験学習科目群



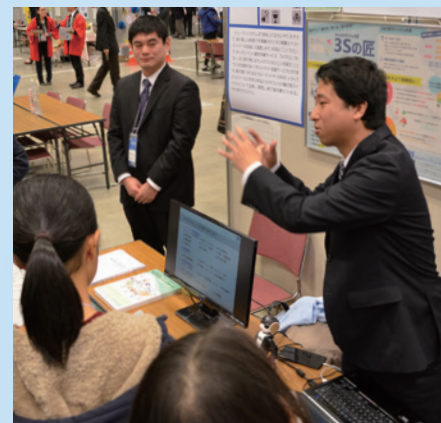
キャリアデザインプログラム

私たちは人生の折々に、進学、就職、結婚、転職、移住といった“これから”の選択を迫られます。その選択の積み重ねが自身のキャリアとなり、人生となります。あらかじめ計画された選択もあれば、突然の変化によって選択を余儀なくされることもあるでしょう。重要なのは、どのような場合でも自分の信念や価値観にもとづく主体的な選択をすることであり、その選択をするための能力を大学生活の中で身につけておくことです。

「キャリアデザインプログラム」は、島根大学で学ぶ高度で実践的な専門性を活かし、自身のキャリアをデザインする力を身につけるための教育プログラムです。学部・学科を問わず誰でも履修することができ、キャンパスだけでなく、社会の中での体験的、実践的なプログラムが多く用意されています。



Check! <http://career.shimane-u.ac.jp/gakusei/cdp.html>
(キャリアデザインプログラムHP)



正課外活動(サークル活動、ボランティア活動、自主企画活動等)の支援

授業や研究室での学修生活以外のもう一つの居場所、自分の好きなスポーツや音楽、その他の文化活動や市民活動、趣味などを通じた仲間との出会いから人間力が育まれます。ボランティア活動やサークル活動等に対しては、それぞれ「ビビットポイント」という独自のポイントが付与され、特典として学用品や書籍等に交換できます。



自分らしい学びを発展させるために

しまだいアントレプレナーシップ教育に挑戦!

リスクに対して積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力を身につけ、実践し、参加者が同じ目線で一緒にイノベーションを創出する「こと」を起こす人材を育成する教育プログラム「コトおこラボ」が始まります。

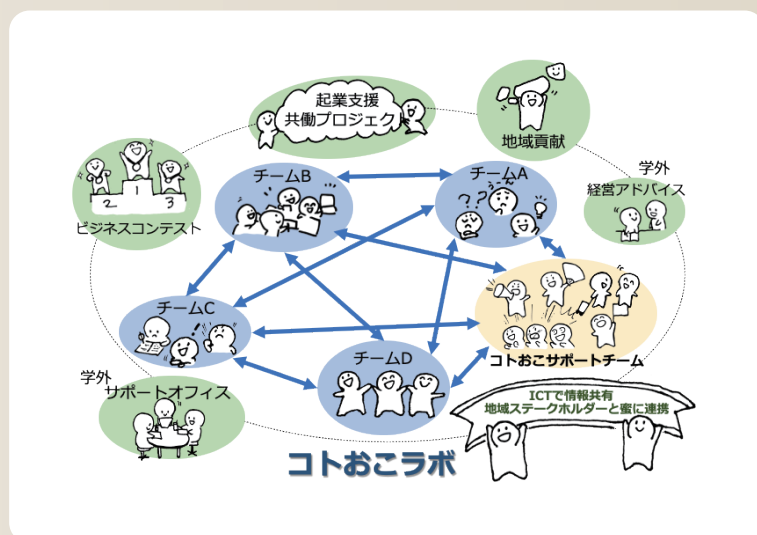
夢をかなえる第一歩

アントレプレナーシップ入門セミナーを実施します。産・官・学・公など様々なセクターで起業家精神を活かして実務に携わっている方、起業家、起業家支援者の方の講義とディスカッションおよびワークを通して社会で実践的に役立つアントレプレナーシップとは何かを考えます。自分の専門分野やキャリアにつなげる視点を持って、起業やプロジェクトに取り組むアントレプレナーに必要なマインドセット、必要な知識やスキルを学ぶ授業科目です。

アイデアのままで終わらせない!

アントレプレナーシップ教育のその先を目指して、起業を含む本物の実践をしたい学生のためのアントレプレナーインキュベーション実験室を開設します。

サポーターは島根大学教員、起業家、企業家、銀行家、投資家、ビジネスプロデューサー、コンサルタント。必要な時に必要なサポートを行います。



Check! <https://cerd2.shimane-u.ac.jp/activities/program05/>



カリキュラムツリーを使って学びをデザインしましょう!

カリキュラムツリーは、カリキュラムの年次進行や授業科目間のつながり、授業科目と学位授与方針の達成との関係を体系的に示してあります。いつ何を学ぶかを自分でデザインして、なりたい自分を目指してください。

Check! https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/curriculum/curriculumtree.html



学務情報システム 「Campus Square」を 使いこなそう



学務情報システム「Campus Square(キャンパス・スクエア)」は皆さん自身が学ぶ授業を登録したり、成績をチェックしたり、進路情報を報告したりするために使われます。つまり、皆さん自身の大学生活を組み立てて登録するシステムであり、皆さんと大学をつなぐ窓口の役目を果たし、入学から卒業まで利用し続けることになる、皆さんにとって身近なシステムです。

学務情報システムを使う場面とは？

皆さんは、学務情報システムを次のような場面で使うことになります。

- ☐ 前期(4月～)、後期(10月～)ごとに授業科目の履修登録をして、時間割を作る
- ☐ 住所や保護者・保証人の情報を登録する
- ☐ 成績を確認する
- ☐ 卒業・修了後に希望する進路を入力する
- ☐ 就職活動の結果を記録する
- ☐ 卒業・修了後の進路を入力する

「Campus Square」の機能のうち、皆さんが最も多く使用することになるのは、履修登録ですが、次の点について注意してください。

- ✓ 学部・学科の卒業要件を確認しよう
- ✓ 教職などの資格・免許に必要な科目を調べておこう
- ✓ 特別副専攻などのプログラムを活用しよう

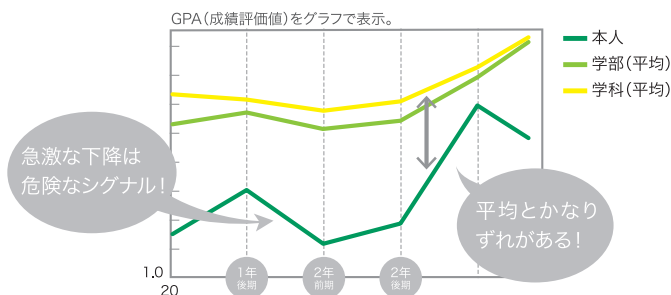


詳しくは別冊「学務情報システム利用の手引き」を読んでください。

学務情報システムの「主体的学修支援機能」

学びのチェックポイント

自分がどんなふうに学び、何が足りないのかを知るための仕組みです。「なりたい自分」になるために「発展させる学び」「足りない学び」をチェックしながら、次につなげていきましょう！



お問い合わせ

島根大学教育・学生支援機構大学教育センター

TEL0852-32-6053

<https://cerd2.shimane-u.ac.jp/>

令和3年3月発行